

様式 2

学校名（ 宍粟市立一宮北小学校 ）

実施日：11月16日（4校時）	
領 域：総合的な学習の時間	
取組名：みんなのあんしんプロジェクト	
対 象：5年生	実施場所：教室
ア ねらい ・ 身の回りの人権課題を見抜き、課題を解決する方法を考え、整理した情報を表現する力を身につけさせる。 ・ 障がいのある人や、性で悩んでいる人の思いについて学び、誰もが安心して過ごせるように人づくりや町づくりのためのアイデアを発信する活動を通して、人権を尊重して生きようとする資質・能力を身につけさせる。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 ・ 工夫が実現できるかを、生活する人の立場で考える。 ・ グループで話し合い、意見を整理する。 ・ 実現可能かどうか迷ったときは、ゲストティーチャーや校長に相談させる。 ・ 班ごとに発表させる。 ・ ゲストティーチャーからの話を聞く。 ・ 本時をふり返る。	
ウ 連携先：宍粟市人権推進課、宍粟市立一宮北中学校、家庭	
エ 連携にむけての取組 ・ 宍粟市人権推進課の方と連絡を取り授業内容について検討した。また、ゲストティーチャーとして迎え、話をしてもらい、児童の理解を深めていった。 ・ 宍粟市立一宮北中学校とは、お互いに授業を公開し参観した。 ・ 家庭には、授業の内容や児童の発言を学級通信で知らせた。	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行う上での工夫点 ・ 9年間（小学校1年から中学校3年）を通した性の多様性の授業カリキュラムを作成するため、小中全職員で夏季研修を実施し、指導案を検討した。 ・ 学年に応じて計画的に性の多様性の授業を進めている。 ・ 授業の様子を動画で撮影し、小中職員がいつでも視聴できるようしている。 ・ 教職員や宍粟市人権推進課の方が授業を参観し、意見交換し合っている。 ・ 各教科・各領域を通して、伝え合う活動を取り入れた授業実践を行うことを小中全職員で意思統一している。ペア学習やグループ学習などを活用し、相手の考えや意見を受け止めてから自分の考えを伝えるように指導している。相手意識をもたせた上で、伝えたいことをまとめさせ、コミュニケーション能力を育てている。	
カ 評価の方法 ・ 授業中の発言 ・ ワークシート、感想	
キ 成果 ・ 生活の中で、児童の行動に変化が見られ、学習で身についたことを生活にいかそうとする態度が育ってきた。 ・ 今まで当たり前だと思っていたことに違和感（先入観）があることに気づき始めた。	
ク 課題 ・ 話し合いの目的をもう少し詳しく伝える必要があった。今後どのようなようになっていくのかというイメージを共有させたかった。目的意識をもっともたせなければならない。 ・ 話し合いの方法について検討する必要がある。自由度が高かったため、時間がかかり、友だちの考えに対する考えを言う時間を十分とることができなかった。	